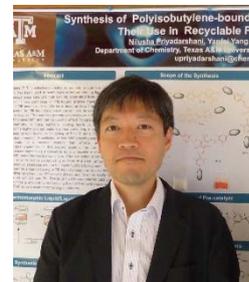


無機層状化合物を利用した潜在性硬化剤

下村 修 (しもむら おさむ)
工学部 応用化学科 准教授

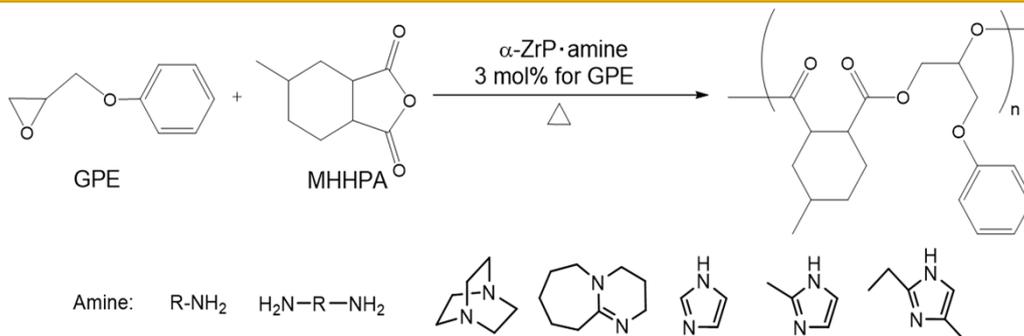
用途・応用分野：塗料、接着剤、成型材料など



■ 研究シーズ概要

一液型硬化剤として、アミン類をインターカレートしたリン酸ジルコニウムを合成し、熱潜在性硬化剤として利用し得ることを見出した。100℃以上に加熱することで樹脂硬化反応が高効率に促進し、作業時間短縮と省エネルギーに貢献しつつ、層状のリン酸ジルコニウム層間内への樹脂侵入による補強効果も一度に達成される利点がある。

アミンをインターカレートしたリン酸ジルコニウムを潜在性硬化剤として利用



■ 研究シーズの特徴

- ① 一液タイプ硬化剤として無機層状化合物利用による長期間貯蔵安定化
- ② アミン類の選択による硬化反応の制御可能 (硬化100℃～)
- ③ エポキシ樹脂類、アミン類の選択とその配合処方により使用適用の広さ

